

| | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 1, 火 / Tue 2 |
| 開講期間 / Class period | 2018/09/28 ~ 2018/11/20 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20180586018901 | 科目番号 / Subject code | 05860189 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMA 12321_006 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育の基礎 (教育心理) / Educational Psychology | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 楠山 研 / Kusuyama Ken | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 吉田 ゆり / Yuri Yoshida | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 吉田 ゆり / Yuri Yoshida | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 教職に関する科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [教育]本館2F第22講義室 / Room 22 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Target students | 教職履修者 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | yuyoshida nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Instructor office | 教育学部220研究室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2394 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 前期 月曜日 後期 木曜日 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects | 教育心理学及び発達心理学を柱とし、臨床心理学や教育学の知見を交えて、児童生徒を対象に、四つの領域について学習する。4領域とは?児童生徒の発達、?児童生徒の学習、?児童生徒の適応、?児童生徒の教育評価である。教育心理学とは『教育：人間の成長発達をすすめるためになされる営み』を、心理学の知見(研究・実践成果により得られた知識と方法)によって、科学的・実証的に解き明かし、『「教え・育てる」「教えられ、育てられる」というかわり』に活かすことを目標とした学問であると定義し、その理解に必要な事項・事象を概説する。 ただし、中学校及び高等学校の教員免許取得予定者が多いことから、児童期よりも思春期以降、青年前期を中心とした展開となる。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 将来教職に就くものにとって、各教科の指導内容・方法に精通することに加え、教育指導をどのように行つかにあたり児童生徒の心身の発達、学習のメカニズムやその動機づけ、健全なパーソナリティの育成等について基礎・基本となる教育心理学的な知識や基本的な教育的態度の習得は必要とされる。教育的諸事象を心理学の視点から捉え考察することができる。 教育心理学の知見を効果的な指導に役立てることができる。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Grading | 単位取得試験の受験資格は1/3以上の出席とする。 成績評価は以下の通り。 小レポート・ワークシート(10回程度) 40% 学期末試験 60% ノート・書籍・資料の持ち込み可。 ただし、電子機器の持ち込みは不可。 (携帯電話・スマートフォン・タブレット・PC等を使用することはできません。) | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 資料はすべてLACSで配布されるので、事前に目を通しておくことが望まれる。 授業中に示した重要キーワードは別途まとめておくこと。 | | |
| キーワード/Key word | 発達(幼児期、児童期、青年前期)(愛着、思春期、アイデンティティ) 学習(動機付け、条件付け) 適応(発達障害 不登校 学級集団 適応・不適応) 評価(教育評価、指導方略) | | |

| | |
|--|---|
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 特に指定しない。授業資料はLACSにアップするので各自ルールに従って活用する。参考図書としては「よくわかる教育心理学」「よくわかる認知発達」ミネルヴァ書房、その他教育心理学、発達心理学の入門書を推奨する。基礎的な資料として文部科学省 中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領を指定する。 |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc. | 指定しないが、教職課程を履修するものを原則とする。 |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | 授業にあたり留意事項があります。オリエンテーションで説明しますが、必ず遵守して頂けるようお願いいたします。 |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 教育現場の実際を踏まえて、中学生・高校生の心の育ちをどう考えるのか、実証的な心理学研究の蓄積からなにがいえるのか、考える時間にしてほしいと思います。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | 教育心理学の役割・性質 |
| 第2回 | 幼児・児童生徒の発達：乳幼児期から児童期の発達 |
| 第3回 | 幼児・児童生徒の発達：社会性と自己の発達、思春期の課題を中心に |
| 第4回 | 幼児・児童生徒の発達?：青年期 ライフサイクル、ジェンダー、生涯発達 |
| 第5回 | 学習：学習の理論 |
| 第6回 | 学習?：学習の動機づけ |
| 第7回 | 学習：教授法 ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」を中心に |
| 第8回 | 教育評価?：知能観と知能検査、発達検査、教育評価ツール |
| 第9回 | 教育評価：教育アセスメント(相対評価・絶対評価および個人内評価) |
| 第10回 | 学級集団の心理と指導：不登校やいじめの現在 |
| 第11回 | 学級集団の心理と指導：適応と不適応 |
| 第12回 | 発達障害：発達障害の諸相(自閉症スペクトラム、学習障害、ADHD) |
| 第13回 | 発達障害：発達障害児のアセスメントと支援 |
| 第14回 | 学校心理臨床の様相 スクールカウンセリングの課題を中心に |
| 第15回 | 家庭教育と学校教育 マルトリートメントと学校を中心に |
| 第16回 | 定期試験 |

| | | | |
|---|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 1 |
| 開講期間 / Class period | 2018/09/28 ~ 2019/01/28 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201805860193Q2 | 科目番号 / Subject code | 05860193 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMA 12331_006 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育の基礎 (教育行政・制度論) / Educational System and Administration | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 池田 浩 / Ikeda Ko | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 教職に関する科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育C棟16 / RoomC-16 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Target students | 1,2,3,4年次 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | y-nakagawa@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @ を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Instructor office | 教育棟新館「251号室」 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 研究室095-819-2090 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects | <p>本授業は近年の社会状況と教育政策の動向を踏まえながら、教育にまつわる問題を考察し、実際の教育現場において生徒に対するどのような教育や支援を行えばよいかをともに検討していく。また、戦後から今日までの日本の教育行政及び制度が社会的な背景と共にどのように変遷したかを学習するとともに、現在、国が打ち出している様々な教育施策が、学校現場でどのように展開されているのかを理解する。</p> <p>さらに、学校内外で想定される事件、事故、災害等に対し、安全管理及び安全教育の視点からどのように子供たちの心と命を守るかを具体的な事案を通して考察する。また、次代を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育むために学校と家庭、地域社会等との連携・協働の取り組みを実践例をもとに考える。</p> | | |
| 授業到達目標/Course goals | <p>学校と社会のつながりや学校を取り巻く様々な課題を理解することができる。</p> <p>キャリア教育を念頭にいた指導上の課題及び問題を抱えている生徒に対する指導上の課題を理解することができる。</p> <p>近年の教育政策(特にキャリア教育、全国学力・学習状況調査等)の動向を理解している。</p> <p>日本の公教育の原理および理念を理解し、説明できる。</p> <p>戦後からこれまでの教育関係法規の変遷を理解し、説明できる。</p> <p>現在の教育制度を支える教育行政理念と仕組みを理解し、説明できる。</p> <p>子どもの心と命を守るため学校、関係機関等が連携・協働し取り組む重要性について理解する。</p> <p>社会に開かれた学校教育の必要性和具体的な取組について理解する。</p> | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3) | <p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p> | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking | <p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Grading | <p>(中島担当分) 毎回の授業後に提出する小課題 (30%), 定期試験 (70%)</p> <p>(中川担当分) 授業及び協議への参画態度 (50%), 定期試験 (50%)</p> <p>(池田担当分) 演習成果資料・レポート (70%), 授業及び協議への参画態度 (30%)</p> | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前・事後学習の内容 / Preparation & Review | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に講義式の形態をとりながら、グループで議論する時間を取ります。 ・事前に調べたり、まとめてレポートにする課題を与えます。 | | |
| キーワード / Key word | 過去と現在の教育行政を知る。 | | |

| | |
|--|--|
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は指定しない。毎回の授業で資料を配布する。 参考書・参考資料等 学習指導要領(文部科学省), 長崎県振興計画, 「危機管理マニュアル」(長崎県教育委員会) |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc. | 15回の講義に毎回、出席すること。 |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 共に教育行政について学びを深めましょう。 |
| 授業計画詳細/Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容/Contents |
| 第1回 | 学校とは何か: 学校と社会のつながり(担当: 中島) |
| 第2回 | 学力・意欲の格差(担当: 中島) |
| 第3回 | 社会階層・ジェンダーと進路選択(担当: 中島) |
| 第4回 | 教育の課題 教育の公共性と私事化(担当: 中島) |
| 第5回 | 教育の課題 学校外・地域外での関係性の構築(担当: 中島) |
| 第6回 | 学校における危機管理 (子どもの命を守る)(担当: 池田) |
| 第7回 | 学校における危機管理 (子どもの心を守る)(担当: 池田) |
| 第8回 | 学校, 関係機関が連携した危機管理対応(要対協, チーム学校)(担当: 池田) |
| 第9回 | 学校, 家庭, 地域社会の連携(社会に開かれた教育課程)(担当: 池田) |
| 第10回 | 社会に開かれた学校教育(コミュニティスクール)(担当: 池田) |
| 第11回 | 昭和(戦後)からの教育関係法規の変遷と社会的背景(担当: 中川) |
| 第12回 | 教育基本法と教育三法の改正とその理念(担当: 中川) |
| 第13回 | 教育再生実行会議の提言と教育改革(第一次から第十次提言)(担当: 中川) |
| 第14回 | 大学入試改革の変遷(大学入試と社会)(担当: 中川) |
| 第15回 | 学校現場が取り組む新たな教育(教育振興計画等)(担当: 中川) |
| 第16回 | 定期試験 |

| | | | |
|---|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 1 |
| 開講期間 / Class period | 2018/09/28 ~ 2019/01/28 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0 / 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20180586019401 | 科目番号 / Subject code | 05860194 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMA 12331_006 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育の基礎 (教育社会・制度論) / Educational System and Society | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa, 中島 ゆり / Nakajima Yuri, 池田 浩 / Ikeda Ko | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目, 教職に関する科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育C棟16 / RoomC-16 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Target students | 1,2,3,4年次 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | y-nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) | | |
| 担当教員研究室/Instructor office | 教育棟新館「251号室」 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 研究室095-819-2090 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects | <p>本授業は近年の社会状況と教育政策の動向を踏まえながら、教育にまつわる問題を考察し、実際の教育現場において生徒に対するどのような教育や支援を行えばよいかをともに検討していく。また、戦後から今日までの日本の教育行政及び制度が社会的な背景と共にどのように変遷したかを学習するとともに、現在、国が打ち出している様々な教育施策が、学校現場でどのように展開されているのかを理解する。</p> <p>さらに、学校内外で想定される事件、事故、災害等に対し、安全管理及び安全教育の視点からどのように子供たちの心と命を守るかを具体的な事案を通して考察する。また、次代を生きる子どもたちに求められる資質・能力を育むために学校と家庭、地域社会等との連携・協働の取り組みを実践例をもとに考える。</p> | | |
| 授業到達目標/Course goals | <p>学校と社会のつながりや学校を取り巻く様々な課題を理解することができる。</p> <p>キャリア教育を念頭にいた指導上の課題及び問題を抱えている生徒に対する指導上の課題を理解することができる。</p> <p>近年の教育政策(特にキャリア教育、全国学力・学習状況調査等)の動向を理解している。</p> <p>日本の公教育の原理および理念を理解し、説明できる。</p> <p>戦後からこれまでの教育関係法規の変遷を理解し、説明できる。</p> <p>現在の教育制度を支える教育行政理念と仕組みを理解し、説明できる。</p> <p>子どもたちの心と命を守るため学校、関係機関等が連携・協働し取り組む重要性について理解する。</p> <p>社会に開かれた学校教育の必要性和具体的な取組について理解する。</p> | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3) | <p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p> | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking | <p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Grading | <p>(中島担当分) 毎回の授業後に提出する小課題 (30%), 定期試験 (70%)</p> <p>(中川担当分) 授業及び協議への参画態度 (50%), 定期試験 (50%)</p> <p>(池田担当分) 演習成果資料・レポート (70%), 授業及び協議への参画態度 (30%)</p> | | |
| 各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前・事後学習の内容 / Preparation & Review | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に講義式の形態をとりながら、グループで議論する時間を取ります。 ・事前に調べたり、まとめてレポートにする課題を与えます。 | | |
| キーワード / Key word | 過去と現在の教育行政を知る。 | | |

| | |
|--|--|
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は指定しない。毎回の授業で資料を配布する。 参考書・参考資料等 学習指導要領(文部科学省), 長崎県振興計画, 「危機管理マニュアル」(長崎県教育委員会) |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc. | 15回の講義に毎回、出席すること。 |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 共に教育行政について学びを深めましょう。 |
| 授業計画詳細/Course Schedule | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容/Contents |
| 第1回 | 学校とは何か: 学校と社会のつながり(担当: 中島) |
| 第2回 | 学力・意欲の格差(担当: 中島) |
| 第3回 | 社会階層・ジェンダーと進路選択(担当: 中島) |
| 第4回 | 教育の課題 教育の公共性と私事化(担当: 中島) |
| 第5回 | 教育の課題 学校外・地域外での関係性の構築(担当: 中島) |
| 第6回 | 学校における危機管理 (子どもの命を守る)(担当: 池田) |
| 第7回 | 学校における危機管理 (子どもの心を守る)(担当: 池田) |
| 第8回 | 学校, 関係機関が連携した危機管理対応(要対協, チーム学校)(担当: 池田) |
| 第9回 | 学校, 家庭, 地域社会の連携(社会に開かれた教育課程)(担当: 池田) |
| 第10回 | 社会に開かれた学校教育(コミュニティスクール)(担当: 池田) |
| 第11回 | 昭和(戦後)からの教育関係法規の変遷と社会的背景(担当: 中川) |
| 第12回 | 教育基本法と教育三法の改正とその理念(担当: 中川) |
| 第13回 | 教育再生実行会議の提言と教育改革(第一次から第十次提言)(担当: 中川) |
| 第14回 | 大学入試改革の変遷(大学入試と社会)(担当: 中川) |
| 第15回 | 学校現場が取り組む新たな教育(教育振興計画等)(担当: 中川) |
| 第16回 | 定期試験 |

| | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 1, 火 / Tue 2 |
| 開講期間 / Class period | 2018/11/27 ~ 2019/02/05 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20180586025301 | 科目番号 / Subject code | 05860253 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMA 12311_006 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教育の基礎 (教育原理) / Principles of Education | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 田中 友佳子 / Tanaka Yukako, 楠山 研 / Kusuyama Ken | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 田中 友佳子 / Tanaka Yukako | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 田中 友佳子 / Tanaka Yukako | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 教職に関する科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟24 / RoomA-24 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Target students | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | yukkan117 gmail.com (メールを送信する際は を@に変更してください) | | |
| 担当教員研究室/Instructor office | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | yukkan117 gmail.com (メールを送信する際は を@に変更してください) | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 授業の開始前30分間と、終了後30分間受け付けます。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects | 教育に関する基礎的な知見(教育に関する歴史と思想、理念、教育課程の意義と編成方法等)を理解し、教育に関する事象に対して批判的に考察する力を養う。また、教育に携わる者に求められる必要最低限の倫理観と責任感を養う。 | | |
| 授業到達目標/Course goals | 教育に関する基礎的な知見(教育に関する歴史と思想、理念、教育課程の意義と編成方法等)を理解できる。また、この知見を用いるとともに自らの意見を主張し、議論することができる。また、倫理観と責任感を持って、教育や教職に向き合うことができる。 | | |
| 知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3) | 主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society | | |
| 学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking | A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers | | |
| 成績評価の方法・基準等/Grading | レポート課題2回(25点×2回)+定期試験(25点×1回)+授業への取組み(25点)=合計100点の うち60点以上を合格とする。 | | |
| 各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format | 詳細は授業計画詳細を参照 | | |
| 事前、事後学習の内容/Preparation & Review | 毎回授業後に、教科書『教育学をつかむ』の予習範囲を提示します。予習範囲を読み、次回の授業 に臨んでください。 | | |
| キーワード/Key word | 教育史 教育哲学 教育課程 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書として、木村元・小玉重夫・船橋一男(2009)『教育学をつかむ』有斐閣を使用します。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc. | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities) | "長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp" | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |

| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 第1回 | オリエンテーション |
| 第2回 | 人間の発達と教育(教育の捉え方) |
| 第3回 | 子どもとは何か(教育の捉え方) |
| 第4回 | 学校とは何か(教育の捉え方, 第1回レポート課題提示) |
| 第5回 | 近世の子育てと学び・近代の教育思想と学校制度(教育の歴史と思想) |
| 第6回 | 近代家族の登場と子育ての変容(教育の歴史と思想) |
| 第7回 | 教育勅語体制の成立(教育の歴史と思想) |
| 第8回 | 戦後教育の転換と戦後の子ども問題(教育の歴史と思想) |
| 第9回 | 教育基本法の改正(教育の歴史と思想, 第2回レポート課題提示) |
| 第10回 | 教育課程と学習指導要領(教育の遂行) |
| 第11回 | 教育課程の編成(教育の遂行) 特別講師: 田中佳太 |
| 第12回 | 教育課程の実施と評価(教育の遂行) 特別講師: 田中佳太 |
| 第13回 | 教育の担い手に必要とされること(教育の遂行, テスト課題提示) |
| 第14回 | 子どもと世帯の貧困(教育課題への接近) |
| 第15回 | ジェンダー・セクシュアリティと子ども(教育課題への接近) |
| 第16回 | 定期試験 |